

❖ 科目名 Course Title			
一般教育演習（フレッシュマンセミナー）唾液のサイエンス～知られざるその能力～			
❖ 担当教員 Instructor			
高橋 茂			
❖ 開講学期 Semester	前期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	3（遠隔・対面 合わせて）	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	演習		

❖ キーワード Key Words	
唾液、唾液腺、文献検索法、レポート作成法、プレゼンテーション法、討論法	
❖ 授業の目的 Course Objectives	
❖ 授業概要 Course Description	
<p>あなたは「唾液」という言葉を聞いてどのようなことを思い浮かべますか。多くの人は「汚い」「怪しい」「役立たず」といったマイナスなイメージを考えるでしょう。しかし、唾液はそのような悪いイメージとは反対に私たちの気付かないところで一所懸命頑張っており、そのおかげで私たちは健康的な生活を送っています。</p> <p>本演習では、唾液およびそれを分泌する唾液腺のあまり知られていない働きぶりや能力などについて理解を深めるとともに、各自が興味を持ったテーマについて文献調査し、レポート作成、プレゼンテーションおよび討論の実際ができるようになることを目標とします。</p> <p>なお、本科目は単位互換科目に指定されており、他大学からの履修も可能です。他大学からの履修学生数は3名以内（遠隔・対面合わせて）で、演習の内容上、歯学・医学・獣医学関係の図書が自大学に取り揃えられているか、もしくは北海道大学の図書館に出向くことができる学生に限られます。</p>	
❖ 到達目標 Course Goals	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 唾液・唾液腺に関する基本的事項を説明できる。 2. 目的に応じて文献調査し、必要な情報を得ることができる。 3. 収集した情報から報告書（レポート）を作成できる。 4. プレゼンテーション用のメディアを作成し、それをを用いた口頭発表および質疑応答ができる。 5. 討論の司会進行ができる。 	
❖ 授業計画 Course Schedule	
<p>主に前半は教員による講義と履修者によるグループワークを中心に行い、後半は履修者各自が情報収集・レポート作成・プレゼンテーションを行います。各回（全15回）の概要は以下のとおりです。</p> <p>第1回（講義）オリエンテーション 第2回（講義）唾液腺の構造 第3回（講義）唾液・唾液腺のはたらき 第4回（講義）口腔乾燥症・唾液腺の病気 第5回（講義）新たな唾液・唾液腺の応用 第6回（演習）グループワーク 第7回（演習）文献検索法（図書館情報入門） 第8回（演習）テーマの選択・演習の要領 第9～11回（演習）文献調査・レポート作成・メディア作成 第12～14回（演習）発表会 第15回（講義）まとめ</p>	
❖ 成績評価 Grading System	
<p>①出席数2/3（10回）以上の履修者が成績評価対象となります。（出席数2/3未満は不合格） ②成績評価は、授業や演習への積極性（約10%）、レポート内容（約45%）、プレゼンテーション内容と討論への取り組み（約45%）などを総合的に評価します。</p>	

<p>❖ テキストTextbooks</p>
<p>❖ 参考書Reading List</p> <p>唾液は語る / 山口昌樹・高井規安 : 工業調査会, ISBN:4-7693-7125-X スタンダード口腔生理学 / 上羽隆夫 : 学建出版, ISBN:4-7624-0588-4 口腔生物学各論「唾液腺」 / 天野 修・草間 薫 : 学建出版, ISBN:4-7624-0652-X ドライマウスの臨床 / 斎藤一郎他 : 医歯薬出版, ISBN:978-4-263-44237-1 徹底レクチャー 唾液・唾液腺 / 日本唾液腺学会 : 金原出版, 2017, ISBN:978-4307030557 新口腔病理学 / 下野正基・高田 隆 : 医歯薬出版, ISBN:978-4-263-45621-7</p>
<p>❖ 準備学習Homework</p> <p>講義期間においては興味を持ったことや疑問に思ったことなどについて予習、復習が望まれます。演習期間ではレポート作成や発表用メディア作成が時間内に終了しない場合、課外時間で完成させることが必要となります。</p>
<p>❖ オフィスアワーOffice Hour</p>
<p>❖ 連絡先 (E-mail) E-mail</p>
<p>❖ 質問・相談への対応方法Contact Information</p>
<p>❖ 履修上の注意Notes</p>
<p>❖ 備考Other Information</p> <p>なお、本科目は単位互換科目に指定されており、他大学からの履修も可能です。他大学からの履修学生数は3名以内(遠隔・対面合わせて)で、演習の内容上、歯学・医学・獣医学関係の図書が自大学に取り揃えられているか、もしくは北海道大学の図書館に向向くことができる学生に限られます。</p>

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外的人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。